

## 2019 年度

## 授業概要

科目名	物理学 ②					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	配当学年時期	1年	通年
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 物理はつまらないと思わないで済むように身の回りの現象に照らし合わせて各論を進める。前期に学んだ内容を忘れないように復習も行います。計算問題は国家試験の領域を踏み出さず、それでいて、目の前に起こる物理現象が各論の積み重ねで構成されていることに気づくまで理解を深めましょう。										
<b>【実務者経験】</b>										
<b>【授業全体の内容の概要】</b> なるべく身近な現象を用いて物理現象の解説をします。										
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 国家試験レベルの問題を簡単に解くことが出来る。 臨床工学技士の目の前で起こる現象について前期の知識をもちいて簡単に説明できるようになる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
16	音③うなり									
17	音④共鳴と楽器									
18	光①目で見ることの出来る光の物理学									
19	光②光の波動性									
20	光③光の粒子性									
21	熱①熱伝導									
22	熱②熱膨張									
23	熱③水の相変化									
24	熱④熱と仕事①									
25	熱⑤熱と仕事②									
26	物質の成り立ち①原子と分子									
27	物質の成り立ち②素粒子									
28	放射線①放射線の種類									
29	放射線②放射線の人体への影響									
30	復習									
定期筆記試験										
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・医療専門職のための二度目の物理学入門、嶋津秀昭、秀潤社										
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・準備学習として教科書の該当箇所を熟読して講義に臨んでください ・講義後は学んだ内容に関連する身の回りの事象に着目し、自分なりに現象を理解してみましょう										
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを30点、定期試験を70点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する										